Report (報告)

東京都八丈島におけるオオチドリ *Charadrius veredus* の記録

渡部良樹*・渡部千夏*

The Observation Record of an Oriental Plover *Charadrius veredus*
on Hachijo-jima, Tokyo

Yoshiki Watabe* and Chinatsu Watabe*

Abstract. An Oriental Plover *Charadrius veredus* was observed at the Hachijo-jima Airport, Hachijo-machi (33° 07' N, 139° 47' E) on Hachijo-jima, Tokyo from 2nd to 3rd May, 2006. In comparison with the Pacific Golden Plovers *Pluvialis fulva* that were presented nearby, this individual was slightly smaller, its legs were longer, and its bill was comparatively thinner and longer. The upperparts, including the head and the wing coverts, were pale brown. The supercilium was white and reached the forehead. The underparts were white and the breast was pale buff. This species has been recorded only in Ibaraki and Chiba Prefecture in the Kanto area and has never previously been recorded in Tokyo, including the Izu and Bonin Islands.

Key words: First record in Tokyo, Hachijo-jima, Migration, Oriental Plover *Charadrius veredus*.

キーワード: 東京都初記録, 八丈島, 渡り, オオチドリ *Charadrius veredus*.

オオチドリ *Charadrius veredus* は、トランスバイカリヤ地域やロシア南部からアラル海にかけての地域と、モンゴルから満州北西部にかけての地域で繁殖し、熱帯地域や南半球で越冬する(日本鳥学会目録編集委員会 2000)。本種は2亜種あり、日本で記録されているものは亜種オオチドリ *C. asiaticus veredus* とされている(日本鳥学会目録編集委員会 2000)。また、亜種オオチドリは、ニシオオチドリ *C. a. asiaticus* とは別種とされることも多く(Hayman *et al.* 1986, Alström *et al.* 1991, Dickinson 2003, Message & Taylor 2005, Clements 2007), その場合、日本で記録されているものの学名は *C. veredus* となる。本報告では別種として扱うこととする。

本種は西日本での記録が多く、特に先島諸島や対馬では毎年春季に記録されているが(桐原ほか 2000, 真木・大西 2000), その他の地域では稀であり、関東地方では茨城県と神奈川県での記録があるだけである(日本鳥学会目録編集委員会 2000)。著者らは2006年5月2日と3日に東京都八丈島において本種1個体を確認し、これが島嶼部を含む東京都での初記録と考えられるので、報告する。

Received 19 September 2008.

* 〒193-0826 東京都八王子市元八王子町 2-3331-6.

* 2-3331-6, Motohachioji-machi, Hachioji-shi, Tokyo 193-0826, Japan.

E-mail: phyllon@nifty.com

Fig. 1. An Oriental Plover *Charadrius veredus* on Hachijo-jima, Tokyo, 2nd May, 2006.

八丈島は伊豆七島南部の海上に位置し、面積 69.48 km²、標高 854 m である（日本離島センター 2004）。

オオチドリは 2006 年 5 月 2 日午前 11 時ごろに島の中央部の八丈島空港 (33° 07' N, 139° 47' E) で発見した。発見時には雷雨を伴う降雨があった。周囲にはムナグロ *Pluvialis fulva* の 100 個体以上の群れやキョウジョシギ *Arenaria interpres*, メダイチドリ *Charadrius mongolus* が見られた。翌 3 日もムナグロ約 60 個体とともに同所で確認されたが、午前 7 時過ぎにムナグロとともに突然飛び立ち、空港の内外を搜索したが、再発見できなかった。この個体の写真撮影を試み、遠方であったが撮影することができた (Fig. 1)。オオチドリがいた環境は、主に滑走路の間の草丈の低い草地で、そこで採食を行っていたが、滑走路に出ることもあった。なお、著者らは同島に 4 月 30 日から 5 月 3 日まで滞在したが、4 月 30 日から 5 月 1 日までの期間には、空港内を見ていないため、5 月 1 日以前にいたかどうかについては不明である。

本個体の特徴は以下の通りであった。

全長は周囲のムナグロに比較し、やや小さく見えた。耳羽を含む頭部から体上面、雨覆はほぼ一様な褐色で、各羽毛には明瞭な淡色羽縁はなく、ムナグロより明らかに淡色に見えた。後頸は頭部や体上面に比べてわずかに淡色に見えた。眉斑は白く、額で左右の眉斑が連結していた。初列風切は一様に暗色だった。体下面は白色で、胸には淡パフ色の幅の広い帯があった。嘴はムナグロに比較して細長かった。脚は全体的なバランス上、ムナグロより長く見えたが、遠方からの観察で、動きが早かったため、色彩ははっきり分からなかった。姿勢はムナグロより立っていることが多かった。また、体全体がムナグロより細く見えた。行動はムナグロより速く、走っては下を向いて採食することを繰り返していた。

国内で記録されているチドリ科の種のうち、イカルチドリ *Charadrius placidus*, メダイチドリ, オオメダイチドリ *C. leschenaultii* はムナグロよりやや小さい種であるが、これらは明瞭な幅の広い黒または褐色の過眼線があるので、本個体とは異なる（真木・大西 2000, 高野 2007）。

そのほかムナグロとほぼ同大で、本個体と形態、色彩が類似しているのはコバシチドリ *Eudromias morinellus*, オオチドリであるが、オオチドリの雄成鳥夏羽は胸に赤褐色の帯があるので該当しない (Hayman *et al.* 1986, Marchant & Higgins 1993)。コバシチドリは両側の眉斑が後頸で連結していることにより、本個体とは明らかに異なる (Hayman *et al.* 1986, 真木・大西 2000, 高野 2007)。本個体の形態と各部の色彩は、オオチドリ幼鳥または雌（幼鳥または成鳥）、雄成鳥冬羽と矛盾する点は見出されなかった (Marchant & Higgins 1993, Rosair & Cottridge 1995)。本種とニシオオチドリの野外識別は冬羽や幼鳥では比較的困難であるが、ニシオオチドリの雌

成鳥夏羽では、胸の帯の下部に黒っぽい境界が出るのが普通であるが、本個体では、そのようなものは見られなかった (Fig. 1 左の写真; 右の写真に見える胸の帯の下部の暗色部分は影と考えられる)。また、オオチドリの胸の帯の幅はニシオオチドリより広い (Hayman *et al.* 1986, Rosair & Cottridge 1995)。雄成鳥夏羽以外では、ニシオオチドリの耳羽には比較的細い帯があるが (Alström *et al.* 1991), オオチドリでは額, 喉, 頬が淡褐色である (Hayman *et al.* 1986)。また, ニシオオチドリの翼はオオチドリより暗色である (Hayman *et al.* 1986, Rosair & Cottridge 1995)。これらの記述から, 本個体はオオチドリと考えられる。また過去における本種の記録と両種の分布を考慮しても (Hayman *et al.* 1986, Marchant & Higgins 1993), オオチドリであることに矛盾はない。

引用文献

- Alström, P., Colston, P. & Lewington, I. 1991. *A Field Guide to the Rare Birds of Britain and Europe*. Harper Collins, London.
- Clements, J. F. 2007. *The Clements Checklist of Birds of the World, 6th edition*. Cornell University Press, New York.
- Dickinson, C. (ed.) 2003. *The Howard and Moore Complete Checklist of the Birds of the World, 3rd edition*. Christopher Helm, London.
- Hayman, P., Marchant, J. & Prater, T. 1986. *Shorebirds: an Identification Guide to the Waders of the World*. Christopher Helm, London.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸 2000. 日本の鳥 550 水辺の鳥. 文一総合出版, 東京.
- 真木広造・大西敏一 2000. 日本の野鳥 590. 平凡社, 東京.
- Marchant, S. & Higgins, P. J. (eds.) 1993. *Handbook of Australian, New Zealand & Antarctic Birds*, Vol. 2. Oxford University Press, Melbourne.
- Message, S. & Taylor, D. 2005. *Shorebirds of North America, Europe, and Asia: A Guide of Field Identification*. Christopher Helm, London.
- 日本鳥学会目録編集委員会 (編) 2000. 日本鳥類目録改訂第 6 版. 日本鳥学会, 帯広.
- 日本離島センター (編) 2004. 日本の鳥ガイド SHIMADAS 第 2 版. 日本離島センター, 東京.
- Rosair, D. & Cottridge, D. 1995. *Photographic Guide to the Waders of the World*. Hamlyn, London.
- 高野伸二 2007. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版. 日本野鳥の会, 東京.